石櫻新聞

発行所
盛岡市仁王田圃
岩手高等学校
岩手中学校
(出版委員会新聞部)
印刷所
岩手日報社

25周年を迎えて

多彩な秋の催しもの

記念式　三日に挙行

文化の秋を飾る本校創立二十五周年記念行事予定が大体決定した。これによると記念式典は十一月三日文化の日に学校関係者、先輩、各界の名士を招待して東北一を誇る講堂で行われ、続く四、五の二日間音楽部、演劇部、英語会話部などによる音楽、劇、詩朗読その他が催うされるが、これと相前後して校内の美術展、書道展、科学展、写真展、全国高校新聞展が行われ記念祭に一層の精彩を加えることになった。

八百名の運動饗宴

二十五周年記念の一つとして行われる恒例の本校大運動会は来る二十三日(火)に挙行される。今年は例年にない盛大なものとなることが予想されているが、これには東海道レー八、仮装行列、市内高中小招待リレーなど本校独特の気風のもられた趣向が展開されるものと思われる。

又校内球技大会も行われる模様であり、二十五周年を迎えた本校の多彩な催しに全校生徒の期待がかけられている。

八重樫会長に授與

石桜会功労章

前期石桜会功労章授賞者を決める各委員会部代表による合同委員会は九月　日合同教室で行われた。当日各委員より推選されたものは左記であったが、該当者なしとした文化委はか委員会からも候補者を出すことなり、すぐ推選を行った。候補者及び推選者次の通り（カッコ内推選者）

▽総務委員会
八重樫昌宏（総務委員会）
▽生活委員会
小沢武志（生活委員会）
▽体育委員会
本吉正夫（体育委員会）加藤恵（同）佐藤忠三（同）村井健祐（鈴木進日）
▽図書委員会
金沢寿（八重樫昌宏、浅沼俊昭）
▽文化委員会
東宏（村松武）
▽出版委員会
大矢哲夫（東宏）

投票の結果総務委推薦の八重樫石桜会長が二十三票の圧倒的多数で一位となり、後日開かれた職員会議をも通過後のガイダンスの時間に授与された。

論説

運動会を決定するもの

二十三日に二十五周年記念祭の一環として運動会が行われる。昔から運動会は学生にとって楽しいものであり、又上級生にとっては相当苦しい仕事に追われる、辛い、行事であるが、又それだけ思出ともなるものである。

皆が種々の役員になり普段遊んでばかりいたり、とかくサボリ勝ちな生徒も一生懸命働いてくれる環境として運動会が行われる。

昔から運動会は学生にとって楽しいものであり、又上級生にとっては相当苦しい仕事に追われる、辛い、行事であるが、又それだけ思出ともなるものである。

二十三日に二十五周年記念祭の一環として運動会が行われる。

これが昔の運動会の姿であった先輩はかくいっている。然し今年はその様な気配が見えているだろうか？『まつ〜授業がつぶれるから、悪くもない。』等と考えている様な若もかなり多い様な気がする。役員に選ばれても、知らぬ顔して、サボって了う。結局の所、係の長のものと、後二三名でテンテコ舞をしなければならなくなる去年も役員なので知っているが、当日等は三名でやらねばならない破目に陥入ってしまい、相手が御気様であるだけに随分困った係りを知っている。その係の者は全部で二十名近くあったのである。

今年の運動もとうやら、当日はそんな事になりそうな係りがいる様である。

大体役員になるということを上の様に考えているのであろう。大勢のものの中から選ばれて、役員になったのであるから、可成り威張ってもよいし、それだけ誇りを感じて、一生懸命働くという気が起らないものであろうか。

役員にならないものこそ、気の毒であると思う様な気が起らないだろうか。どうせ普段は余り役員等になる事が少いのである。

鬼角、仕事を与えられるという事はそれだけの権利と責任を与えられた事になる。それをややもすれば回避したがり、遊んでばかり居ようとするものは、この民主主義の現代に、反逆する者であり、いづれ、社会に出てからも、強く感じさせられる事となろう。

鬼に角、二十五周年と銘を打って行われる運動会である、この運動会を良く運ぶか運はないかは全く役員の行動によるのみである。上級生たるもの良ろしく奮発して大いに頑張ろうではないか。

一人二十円を寄付

野球、送球遠征費に

八月三十日合同教室に於て総務委員会、体育各部代表による合同委員会が開催された。これは四月に組入定予算のうちの遠征費が残僅かとなったので、十月初めの野球部仙台遠征、ハンドボール部郡山遠征（いずれも東北大会）が出来なくなる恐れがあるところから全校生徒に協力を要請することになり、種々討議の結果一人当り二十円以上の寄付を求めることに決定した。

岩瀬送球部主将談　おかげ様で野球部と共に東北大会に出場、選手一同大いに感謝しております。

高二図書委員から高一の図書委員で運動部に入っているため来年度の事務引継ぎができないから失格させてはどうかと提案あり、佐々木一彦、中川功哉、金沢、畑谷、藤沢拓三、浅沼洋之助の六君を失格さすことに決定した。

受験対策など視察に

仙台一高、東北学院見学の件

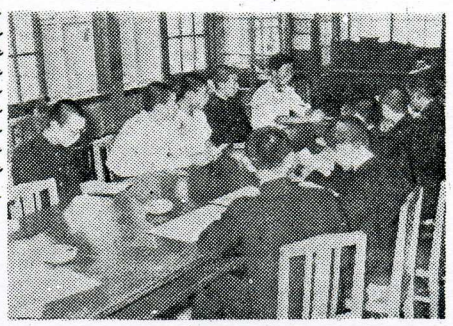
学習委員会から受験対策、図書室の設備、生徒会の活動状況等を視察するため仙台一高、東北学院の二校に代表を派遣してはどうかと提案があり、これを可決、九月十一日に行くことに決定した。各委員会代表次の通り。

▽職員側＝遠藤貫甲先生（学習委）
△生徒側＝浅沼俊昭、福田正明（学習委）田村寿、秋葉悟史（総務委）小沢武志、佐々木敏一（生活委）大矢哲夫（出版委）

奨学金授与者　二十六年度前期奨学金授与者次の通り。

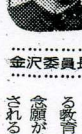
決めた事は必ず実行

八月三十日に行われた総務委員会の席上八重樫会長から講和会議に因んで本校でもこれを記念として各委員会やHRで決めたことは必ず守ることを伝統として育てて行こうと提案され満場一致でこれを可決した。



写真は仙台一高で生徒会首脳者と会談する視察団

学校図書館設立



金沢委員長

創立二十五周年を記念し独立した学校図書館が設立されることに決定した。現在会同教室隣りにある図書室では収容人員、冊数、内容など余り充実したものを望めず、かねてから生徒間に独立した図書館が設置されるよう要望されていたものである。建物は二階建て、書庫はコンクリート造りとし予算三百万円から二百五十万円を見込んでいる場所は大体もと奉安殿のところになるしいが確定はしていない。具体的に決れば来春早々には着手する予定。

金沢図書委員長談　詳細はまだ聞いていない。微居的、充実せる教育の強調される今日長年の念願が叶って学校図書館が設立されることは非常に喜ばしいことと思っている。学校図書館の完備は文部当局の方面の学校図書館の完備に決定した。

岩大志望多し

適検申込書に見る進学状況

前期の期末試験も終りあますこと五ヵ月。卒業を目前に控えて進学志望の高三は学力の充実に大わらわであるが、十二月十六日に行われる新制大学、短期大学入学適正検査の申込書に見た高三の進学希望は次の通りである。

前期の期末試験も終りあますこと五ヵ月。卒業を目前に控えて進学志望の高三は学力の充実に大わらわであるが、十二月十六日に行われる新制大学、短期大学入学適正検査の申込書に見た高三の進学希望は次の通りである。

これによるとやはり昨年同様若手大学志望が圧倒的に多く約七十五名となっている。この岩大志望も岩大が第一期となっているためにヤマをかけ旧制大学を受けるかで相当頭痛のタネとなったらしいが結局多数が経済的な負担のかからない確実なコース岩大を選んだものと思われる。学部別には農学部が二十五名、工業部が二十五名、一方県外の大学に受験するもの約三十名で、その大半が東京方面の学校である。学校別では東大、早稲田大、明治大、立教大、日大、福島大、一橋大、東北大、弘前大などが希望されているが、いずれも取残された後期に最後のふんばりを行い、狭き大学の門をくぐろうと必死である。

狭き門〟就職〟

希望に胸をふくらまし進学する生徒に対し、社会人としての第一歩を踏み出そうとしているものは大体四十名となっている。現在まで学校にあっせんを依頼して来ているのは岩手殖産銀行、興産無尽、松尾鉱山、富士銀行などであるがいずれも定員未満となっている。又縁故関係を生って手するを求めているものもあるが、ここも大学の門と同じ狭き門で志望者は青息吐息である。

模試成績　七月十日に行われた模擬試験の成績は❶田村寿❷八重樫昌宏。

前期末考査　二十六年度前期末考査は九月一十五日から二十九日迄行われる。

進適三千七百名が受験　明春の入学試験のトップを切る新制大学、短期大学入試の前ようせん戦ともいうべき進学適正検査は十二月十六日全国一せいに実施されるが本県でも岩大農学部の各会場の外三校で行われる。進学適正検査県監理審査会では十日にこの出願を締切ったが本県からは約三千七百名が受験する。

なお岩大は今年も一期で願書受付は一月一日から一月十五日迄入学者選抜試験は二月五日から発表は三月一十四日までに行うことになっている。

クラス対抗討論会……

弁論部、出版委員会共催で二十五周年記念クラス対抗討論会を十一月中旬実行する予定。出場要領次の通り。

▽出場者　各クラス一チームとする（一チーム三名）
▽題名
一、六日制復帰は是か非か
二、講和後の再軍備は是か非か
三、ローマ字の国字採用の是非
四、日本は農業立国か工業立国か。
五、学区制は大学入試にとって是か非か。
△以上は是非一方のみ。
△テクニカル・デベイトメントとして決勝の際次の論題で抽籤の結果是非を決める。
六、落第は是か非か。
その他詳細は追って発表する。

▽記念特集号
二十五周年を記念し発行するタブロイド四ページ、発行日十二月十日。
▽紙上討論
各方面の要望によって紙上討論を行う。論題は近く発表するが生徒諸君多数の御意見が寄せられるよう期待する。
▽文芸を募集
石桜新聞は今年度に入り大体文芸欄を圧縮し記事の拡充に務めて来たが『文芸欄を設置せよ』という多数の要望に従い又復活することに決定した生徒、職員その他諸氏多数の投稿を希望する。宛先は出版委員会新聞部学芸係。

石桜新聞第三位

岩手新聞社主催の第一回県下学生新聞コンクールは十月六、七の両日行われたが審査の結果、石桜新聞は第三位と決定。七日新聞社に於て表彰式が行われ編集局長から賞状メタル、賞品が授与された。

新聞展など

出版委　記念行事

二十四周年記念出版委員会記念行事次の通り。

▽県下高校新聞展
県下高校新聞部の協力によって十一月三日から三日間、県下高校新聞展を開催する。なお石桜新聞も第一号から現在迄に発行されたものを全部展示する。

高一田村寿、高一斎藤裕、柿木茂中二村田鷹司

県下英語学藝会

本校主催

十二月に講堂で

岩手高校英語会部主催、岩手日報社後援の第一回県下中学校英語学芸会は来る十一月八日本社講堂で行われる。昨年は県下十三校が参加し盛大に催うされたが、今年も英語劇、詩朗読など盛会が予想される。（なお本校は昨年英語劇『四辻のピッポ』を上演一位を獲得している。）

出場資格は県内男女中学校生徒種目は英語劇、英語演説、英詩朗読など劇は二分以内、詩演説は七分以内、題はいずれも自由選択となっている。

英弁に本校出場

岩手英学会主催の県下高校英語弁論大会は十二月十日水路中学校で行われ本校から高二高橋章弘、村田鷹司が出場した。

高校音楽大会に出演

岩手日報社主催の高校音楽大会は去る十月十三、四の両日県公会堂ホールで行われたが本校からは村田健君の独唱（母、忘れさせ給え）と柳舘先生指揮の男声合唱（平和の鐘、ブルドックと蛙、きけ朝鳥の歌）が出演。

高校音楽大会に出演

浅沼市内弁論大会に出場

岩手女子高校二周年を記念する同校主催の市内高校弁論大会は十月三日行われ本校から浅沼俊昭君が出場した。

晴れの市代表に

県下中学校演劇コンクール盛岡予選は十月日下小路中学校で行われ本校から高二高橋章弘、村田鷹司が出場した。

高演連発表会

十一月中旬に行われる市内高校演劇連盟発表会に本校から水沢章田夫作の『隧道』を上演する。キャストは常・秋浜悟史、留・大山信夫。

淵沢先生回復　去る七月から病気で休講されていた淵沢先生は病気が回復されたので十月始めから登校されている。

〝赤い羽根〟に協力　毎年行われる愛の募金〝赤い羽根〟運動に本校も協力、高校は一人当り五円中学は二円出すことに決定。

電話料金についてお知らせ　最近電話の利用者が大分ふえておりますが未だに使用料金を払わない人がおります。使用者は必ず記入し料金を収めて下さい。なお電話使用料金は一回五円となりました。

学校行事予定

▽十月二十三日　運動会
▽十月二十四日　臨時休校
▽十一月三日　記念式
四日　記念祭（第一日）
五日　記念祭（第二日）
六日　臨時休校
十月一旬　校内球技大会
マラソン大会

皆様に愛される店
信用と責任を誇る
ワシントン靴店
岩手公園入口
電話一六七二

＝教育会指定＝
伝統と歴史を誇る
各種万年筆の専門店
万年堂
盛岡市中ノ橋通り
電話二六三一番

相次ぐ強豪連破

硬式野球部　県制覇の偉業

秋の高校野球新人戦は各地区予選を皮切りに県大会、東北大会が行われたが、本校は快腕小武方を陣頭に選手一同の奮闘で相次ぐ強豪を連破、東北大会勝で秋田南校と対戦し惜しくも4：0で東北制覇の栄冠を逸した。

東北大会　東北大会は十月六七の両日仙台市に於て行われた。

▽一回戦

| | | |